

特集

東京オリンピック・パラリンピック IBC/MPC構築の 基礎知識

2020東京オリンピック・パラリンピックの隠れた巨大施設は、メディア戦略拠点であるIBC(国際放送センター)とMPC(メディアプレスセンター)である。この施設の実体あまり知られていないので、基礎知識として、連載記事および座談会で明らかにした。(編集部)

連載



TokyoOlyPara NewsCenter⑦

2020年東京オリンピック・パラリンピック メディア戦略の拠点 IBC/MPCの準備は？



廣谷 徹

Hiroya Toru
国際メディアサービスシステム研究所 代表

オリンピックを支える メディア戦略の中核施設、 IBC/MPC

オリンピックの開催で整備される施設で、最も巨大な施設は開会式や閉会式、陸上競技などが開催されるオリンピック・スタジアムである。オリンピック・スタジアム

は、五輪のシンボルともなるため、開催地は巨額の経費を投入して建設する。2008年北京五輪の“鳥の巣”、2012年ロンドン五輪のオリンピック・スタジアム、そして、2020年東京五輪では、その建設計画を巡って迷走が収まらない新国立競技場だ。

しかし、五輪開催にとって、最も重要視しなければならないのはオリンピック・スタ

ジアムではない。IBC/MPCと呼ばれるメディア関連施設だ。約10万平方メートルの広さの広大な施設がメディア・オペレーションのために整備される。その施設の規模は、オリンピック・スタジアムと肩を並べる。

IBCとは、International Broadcasting Center (国際放送センター) の略称でテレ